

# 願書作成に当たって

## 1 願書及びその作成の意義

- ◎ 願書は、受験場の単なる手続きではなく、「評価の対象」となるのだとの認識をもつことを求めています。
  - ・ 正確性、丁寧さ、妥当性、相手意識、説得力、注意深さ・等
- ◎ 願書作成は、「教員としての自己を見つめ確認」とともに、「自己アピール」に繋げることを示唆しています。
  - ・ 教師としての特性や目指す姿、信念、教職に対する情熱や責任、覚悟・等

## 2 願書作成に当たっての全体的な配慮点

- (1) 読みやすいこと
  - 丁寧に読みやすい文字と適切な記入であること
    - ・ 読み手が気持ちよく読めるように、丁寧に適切な大きさの文字で
    - ・ 過密にならないように、文字間や行間を適切に取り、枠内にきちんと
- (2) 記入項目への適切な対応
  - 何を問われ、何を書き入れるのかを明確にして記入すること
    - ・ 記入要領や記入例があれば、しっかりと読み、理解して
    - ・ 自己分析や自分なりの考えを整理し、また、読み手に対する配慮も
- (3) 願書も自己PRの機会
  - 自己PRをしっかりと行うこと、ただし、過度にならないこと
    - ・ 記入事項の一つ一つが自己PRの機会であるとも思いで
    - ・ 教員としてどのような資質に繋がるかを明確にして
- (4) 願書の汚れ等への配慮
  - 提出物であることを踏まえ、用紙自体も汚さないように
    - ・ シワクチャであったり、汚れたりしたのは不快感を与えるだけでなく、教員としての資質が問われることも
- (5) 願書作成に取り組むことで、自己への問いかけを
  - 書くことは、自己理解であり、認識の明確化を図ること
    - ・ 願書作成に取り組むことは、自分が教員としてのどのような特性や価値、課題を持っているかを見い出したり、明確にしたりすること
    - ・ 願書作成が、教師を志す自分にどう繋がっているのか、また、教育現場でどのような貢献ができるのか、どのような教育を目指したいのか等を問いかけて明確にすることが重要に

注<sub>1</sub> 間隔を置いて何度も見直したり問い直したりすること

注<sub>2</sub> できる限り多くの人に見てもらい、アドバイスをいただくこと

### 3 願書の記入項目に即して（宮崎県の願書を例に）

#### (1) 表面

- ① 受験区分
  - 「なぜ、その学校種の教員を目指すのか」の問いかけ（明確化）を
- ② 氏名・年齢
  - 文字は正確か
  - ふりがなは指示通りか
  - 年齢は指示通りか
- ③ 緊急連絡先
  - 指示通りか
- ④ 学校・学部・学科名
  - 名称は正式か（確認は）
- ⑤ 在学期間等
  - 期間は正確か（確認は）
  - 卒業見込は確かか（確認は）
- ⑥ 受験に関わる教科等の免許取得（見込）学校名
  - ①の受験区分に整合しているか
  - 学校名は適切か
- ⑦ 免許状
  - ①に関する免許状の記載は
  - 複数の場合にどんな順に記載するか
- ⑧ 免許状の修了確認期限・有効期限
  - 指示通り確認したか
  - ①の受験区分に該当する免許状か
- ⑨ 職歴
  - 職名は適切か
- ⑩ 一部試験免除による受験申請
  - 該当するか
  - 指示通りか
- ⑪ 英語優遇措置資格の申請
  - 指示通りか
- ⑫ 大学院進学のための採用延期の希望
  - 指示通りか
- ⑬ 結果の情報提供
  - 指示通りか
  - なぜ、するのかしないのかの問いかけ（明確化）を
- ⑭ 他県等の受験
  - なぜ、受けるのか、受けないのかの問いかけ（明確化）を
  - 両方合格の場合は、どうするのかの問いかけ（明確化）を
- ⑮ 写真
  - 指示通りか
  - 「納得のいく写真か」の問いかけを

(2) 裏面

① 宮崎県の教員を志望した理由

- なぜ、他県でなく「宮崎県の教員」なのかを明確に  
＝明確化の観点として＝
  - ・ 宮崎県に対する思いや貢献できるやりがい感等は
  - ・ 宮崎県の教育環境のすばらしさやそこに身を置く喜び等
  - ・ 宮崎県の教育施策・教育活動の魅力や課題等は

② 特筆すべき活動歴

- 特別すべき点が明確になっているか
- それは、教師の資質に関係し、教育活動に必要なものであるか
- それが、特筆すべきものであるか根拠が示されているか
- 読み手によく伝わるように表現されているか
- 記述内容に問いかけを

＝参考例（自分を振り返ってマトリックスとして整理してみる）＝

観 点	小学校	中学校	高等学校	大 学	特筆すべき点
部活動 クラブ 習い事	剣道	剣道初段	剣道2段	剣道3段	・粘り強い取り組み ・高い技術力の習得
ボランティア				学習指導 (夏季学習)	・児童の躓きと対応の 在り方
児童会 生徒会		清掃委員会	生徒会長		・生徒の立場からの学 校理解とその対応
その他		海外ホーム ステイ			・海外の学校生活や考 え方の違い

③ 取り組みたい教育活動

- 特技・趣味・資格及び研究記録が生かされている教育活動か
- 具体的に表現されているか
- 取り組みたい理由やその成果が具体化されているか
- 記述内容に対する確認を

＝参考例（②の特筆すべき活動を生かして、教育現場で取り組みたいことを）＝

- ・ 学校のいつ・どの場面で、どのような取り組みをしたいか具体的に
- ・ 複数ある場合は、活動別に記述を

④ コミュニケーションについて普段から心がけていること

- コミュニケーションで重要なことは
  - ・ 表情・受容・傾聴・共感・カウンセリングの考え方で何を大切にしていますか？
  - ・ 促し・うなずき・繰り返し
  - ・ 賞賛・共鳴・共に考える姿勢
- コミュニケーション能力の向上のために、日常生活で気をつけていることとその理由
- 教員・教育におけるコミュニケーションの重要性は？

＝参考例（宮崎県教職員評価制度「職務行動評価」の各項目では）＝

- 児童生徒とのコミュニケーション能力
  - ・ 日頃から児童生徒と公正に接し、児童生徒の考えをよく聞いている
  - ・ 児童生徒と適切な距離を保ち、自分の考えをわかりやすく伝えている

- 自己管理能力
    - ・ 相手の話をよく聞き、誠実に対応している
    - ・ 状況に左右されず、感情をコントロールしている
  - 組織貢献力
    - ・ 組織の業務に同僚職員と意思疎通を図りながら、協力して取り組んでいる
    - ・ 上司や同僚職員と自主的に意見交換を行うなど、組織の職務遂行に積極的に参画している
  - 人材育成
    - ・ 上司や同僚職員等のアドバイスや自分の失敗を謙虚に受け止め、自己啓発を行っている
  - 外部折衝力
    - ・ 保護者等からの意見や要望を十分に聞き、誠意を持って対応している
    - ・ 保護者等に、学級や事故の担当業務の状況をタイミングよく発信している
  - ⑤ 受験上、配慮すべきこと
    - 指示に従った記入か
    - ある場合、配慮点と理由は明確（記述可能な範囲で）か
    - 記述内容への問いかけを
  - ⑥ 水泳への支障
    - 指示に従った記述か
  - ⑦ 署名
    - 指示通りか
- ＝注＝

- \* 教員としての自己確認やアピールの機会としての意識で
- \* 早めに取りかかって
- \* 特に、手間をかけて見直し
  - 内容も表現も工夫して
  - 文体も統一して
  - 自分で納得して（記述内容をしっかり覚えるまで）
- \* 指定の枠内に適切に
- \* 枠下の1～5をしっかりと意識、対応して
- \* 訂正は二本線で消し、その上に訂正印を押す
- \* 「出願時提出書類確認表」での最終確認をする